

株主メモ

●事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
●定時株主総会	毎年6月
●基準日	定時株主総会・期末配当：毎年3月31日 中間配当：毎年9月30日（但し、中間配当を行う場合）
●株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
●郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031（フリーダイヤル） 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び 全国各支店で行っております。

株式に関するお手続きについて

お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先
●单元未済株式の買取請求 ●届出住所・氏名などのご変更 ●配当金の受取方法のご指定	口座を開設されている証券会社
●郵便物の発送と返戻に関するご照会 ●支払期間経過後の配当金に関するご照会 ●株式事務に関する一般的なお問い合わせ	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

CRIE
クリエアナフキ



第30期 中間報告書

平成27年4月1日から平成27年9月30日まで

CRIE
クリエアナフキ

株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜りありがたく厚くお礼申し上げます。

さて、第30期第2四半期（平成27年4月1日から平成27年9月30日まで）の報告書をお届けいたしますので、よろしくご高覧ください。

派遣労働者の受入れ期間の上限撤廃を柱とした改正労働者派遣法がようやく成立し、当四半期の末日である平成27年9月30日に施行されました。2度にわたる廃案を経て、待ちに待った雇用分野の規制改革の一つが現実のものとなりました。

当社設立の契機は、昭和60年7月の労働者派遣法制定にあり、当社グループの歴史は、派遣市場の発展と共にありました。今般の法改正が、低迷久しい派遣市場の活性化に資することは、疑いのないところです。それは即ち、折からの地方創生の機運の高まりと共に、更なる新規蒔き直しのチャンスが、当社グループに訪れたことを意味しております。

当社グループは、この潮流をしっかりと捉え、再び力強い成長を遂げるために、前期において四国重視の営業戦略へと大きく舵を切りました。可及的速やかに、主たる営業基盤である四国での圧倒的地位を確立した上で、「中四国No.1」の総合人材サービス企業をめざしていく所存です。

当四半期は、この方針のもと、将来の中四国での事業展開を視野に、採用コンサルティングサービスに

定評がある東京都の㈱採用工房を子会社化いたしました。平成27年10月には、愛媛県を本拠とする同業の㈱ミウラチャレンディを友好的M&Aによって100%子会社としております。

来る平成28年4月11日、当社は設立30周年を迎えます。機は熟しました。今こそ、第2創業期の始まりを告げる時です。名実ともに備わった「中四国No.1」の総合人材サービス企業へと成長を遂げるべく、グループ一丸となって邁進してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

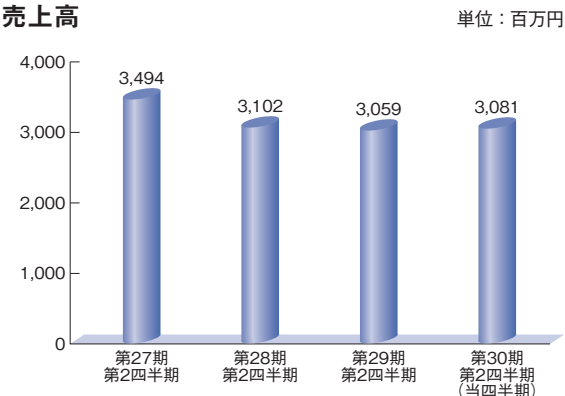
平成27年12月



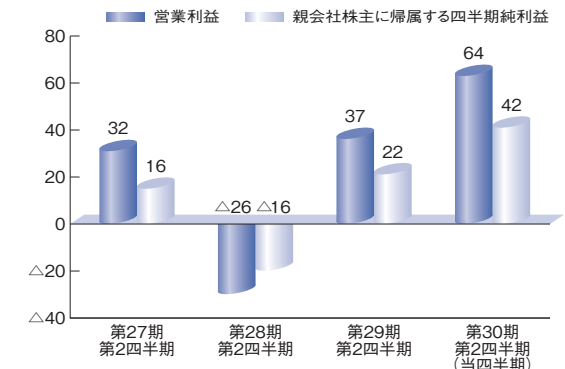
代表取締役社長 藏田 徹

経営指標の推移（連結）

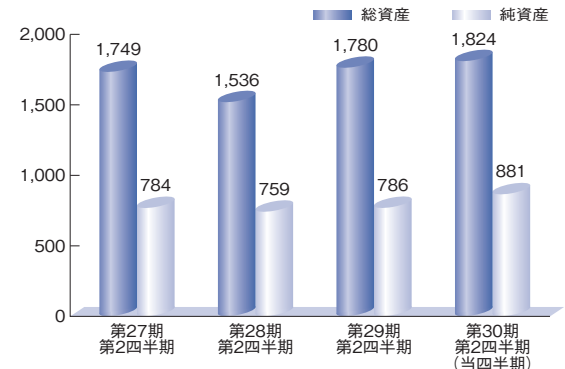
●売上高



●営業利益・親会社株主に帰属する四半期純利益



●総資産・純資産



事業の状況

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、輸出が弱含むなど、一部に鈍い動きが見られるものの、個人消費が底堅く推移するなど、景気は緩やかな回復基調を辿りました。また、多くの自治体において「まち・ひと・しごと創生法」に基づく地方版総合戦略の策定が進むなど、地方創生の機運が高まりつつあります。

人材サービス業界においては、完全失業率が低水準で推移するなど、雇用情勢は総じて改善傾向にあります。また、当第2四半期連結累計期間の末日である平成27年9月30日に、派遣労働者の受入れ期間の上限撤廃を柱とした改正労働者派遣法が施行されるなど、雇用分野の規制緩和が進もうとしております。

このような経営環境の中にあって、当社グループは、30年に及ぶ営業活動で培われた信頼と実績、地元本社の上場・総合人材サービス企業という独自性、あなぶきグループの知名度と力量など、多くの強みを有する四国を重視した営業戦略により、同地域での売上高・市場シェアの拡大を通じた、収益の向上をめざしております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高3,081,900千円（前年同四半期比100.7%）、営業利益64,246千円（同171.2%）、経常利益66,386千円（同165.4%）、親会社株主に帰属する四半期純利益42,060千円（同188.1%）となりました。

各事業部門の業績は、次のとおりであります。

人材派遣

当事業の売上高は1,798,585千円（前年同四半期比96.6%）となりました。

当社グループの主力である当事業については、四国重視の営業戦略を推し進めた結果、中四国では増収となったものの、政策的に新規開拓を手控えた大都市圏での売上減をカバーするには至らず、前年同四半期の実績を下回りました。

アウトソーシング

当事業の売上高は1,128,026千円（前年同四半期比111.0%）となりました。

物流関連アウトソーシング事業を営む株式会社クリエ・ロジプラスにおいて、主たる取引先からの受注が比較的堅調に推移したことに加え、売上原価の低減（人員配置の効率化など）にも努めた結果、前年同四半期の実績を上回りました。

人材紹介

当事業の売上高は77,464千円（前年同四半期比91.5%）となりました。

収益性の向上の鍵を握る当事業については、四国重視の方針に従って、大都市圏在住の人材の四国への流入に繋がるUターン・Iターン転職支援に注力したほか、今般の法改正の趣旨を踏まえ、直接雇用への途を開く紹介予定派遣にも積極的に取り組みました。また、引き続き、中四国において幅広い層を対象とした求人開拓と求職者確保にも努めました。前年同四半期の実績を下回りました。

再就職支援

当事業の売上高は4,437千円（前年同四半期比18.3%）となりました。

景気悪化局面で需要が急増する特性を持つ当事業については、四国での営業活動に引き続き注力したものの、大型案件の受注がなく、前年同四半期の実績を大きく下回りました。

IT関連

当事業の売上高は46,944千円（前年同四半期比93.0%）となりました。

株式会社クリエ・イルミネートが首都圏を中心に提供する研修などのサービスについては、自社教室でのマイクロソフト社SharePoint関連の技術者向けトレーニングが好調に推移したものの、動画を用いた新商品「バーチャルクラス」の売上が伸び悩んだことなどから、前年同四半期の実績を下回りました。

その他

研修・測定サービスなど、上記の各事業部門に含まれない事業の売上高は、合計で26,442千円（前年同四半期比124.1%）となりました。なお、採用コンサルティングサービスへの取組を一段と強化するため、平成27年7月に株式会社採用工房の株式を追加取得し、持分法適用関連会社であった同社を子会社化しております。

経理の状況

● 連結貸借対照表

科目	前期 (平成27年3月31日現在)	当第2四半期 (平成27年9月30日現在)
【資産の部】		
流動資産	1,661,291	1,589,585
現金及び預金	939,185	903,645
売掛金	663,274	603,078
仕掛品	—	5,692
原材料及び貯蔵品	810	648
前払費用	18,619	34,303
未収還付法人税等	3,213	—
繰延税金資産	34,718	40,074
その他	2,447	3,011
貸倒引当金	△ 977	△ 869
固定資産	236,407	234,727
(有形固定資産)	(17,351)	(24,142)
建物	8,960	11,388
工具、器具及び備品	8,390	12,753
(無形固定資産)	(73,825)	(91,266)
のれん	45,156	66,275
ソフトウェア	24,475	20,803
電話加入権	4,188	4,188
その他	5	—
(投資その他の資産)	(145,230)	(119,317)
投資有価証券	29,740	2,575
繰延税金資産	22,879	24,797
差入保証金	92,060	91,110
その他	550	835
資産合計	1,897,698	1,824,312

単位：千円

科目	前期 (平成27年3月31日現在)	当第2四半期 (平成27年9月30日現在)
【負債の部】		
流動負債	894,859	725,090
短期借入金	26,000	8,000
1年内返済予定の長期借入金	39,464	59,472
未払金	74,849	65,278
未払費用	430,712	391,844
未払消費税等	214,056	97,665
未払法人税等	26,780	32,941
預り金	9,434	12,018
賞与引当金	67,636	52,232
その他	5,926	5,638
固定負債	196,539	217,894
長期借入金	128,240	143,500
退職給付に係る負債	68,299	74,394
負債合計	1,091,399	942,985
【純資産の部】		
株主資本	794,892	825,390
資本金	243,400	243,400
資本剰余金	112,320	112,320
利益剰余金	445,837	476,335
自己株式	△ 6,664	△ 6,664
その他の包括利益累計額	476	731
その他有価証券評価差額金	476	731
非支配株主持分	10,930	55,205
純資産合計	806,298	881,327
負債純資産合計	1,897,698	1,824,312

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

●連結損益計算書（要旨）

単位：千円

科目	前第2四半期 (平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで)	当第2四半期 (平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで)
売上高	3,059,725	3,081,900
売上原価	2,434,869	2,453,129
売上総利益	624,856	628,771
販売費及び一般管理費	587,320	564,524
営業利益	37,536	64,246
営業外収益	4,712	4,005
営業外費用	2,104	1,865
経常利益	40,144	66,386
特別利益	—	1,954
特別損失	423	—
税金等調整前四半期純利益	39,721	68,341
法人税、住民税及び事業税	16,612	26,220
法人税等調整額	△ 966	△ 6,147
四半期純利益	24,074	48,268
非支配株主に帰属する 四半期純利益	1,718	6,207
親会社株主に帰属する 四半期純利益	22,356	42,060

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

●連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

単位：千円

科目	前第2四半期 (平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで)	当第2四半期 (平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで)
営業活動による キャッシュ・フロー	185,941	△ 71,765
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 3,041	30,499
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 32,738	5,726
現金及び現金同等物 の増減額 (△は減少)	150,162	△ 35,539
現金及び現金同等物 の期首残高	695,121	940,185
現金及び現金同等物 の四半期末残高	845,283	904,645

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

●ホームページのご案内●

当社ホームページには、事業内容のほか、株主・投資家の皆様向けの最新IR情報を掲載しております。どうぞご利用ください。



<http://www.crie.co.jp/>

会社の状況

●会社概要（平成27年9月30日現在）

商号	株式会社クリアナブキ
本店	香川県高松市磨屋町2番地8
設立年月日	昭和61年(1986年)4月11日
資本金	2億4,340万円
従業員数	97名(男性42名、女性55名)
主要な事業内容	人材派遣、アウトソーシング、人材紹介、再就職支援、組織人事コンサルティング、研修・測定サービス
連結子会社	株式会社クリエ・ロジプラス 株式会社クリエ・イルミネート 株式会社採用工房

(注) 平成27年10月16日付で、株式会社ミウラチャレンディが新たに連結子会社となっております。

●株式の状況（平成27年9月30日現在）

発行可能株式総数	9,000,000株
発行済株式の総数	2,340,000株(自己株式27,440株を含む。)
株主数	669名

大株主（上位10名）

株主名	持株数	持株比率
穴吹興産(株)	1,323,500株	57.2%
藏田徹	228,700株	9.9%
クリアナブキ従業員持株会	84,700株	3.7%
(株)穴吹ハウジングサービス	65,500株	2.8%
島津実義	61,400株	2.7%
穴吹忠嗣	48,000株	2.1%
深谷泰平	31,000株	1.3%
上口裕司	29,000株	1.3%
山下博	21,000株	0.9%
森本秀代	16,900株	0.7%

(注) 持株比率は、自己株式(27,440株)を控除して計算しております。

●役員（平成27年9月30日現在）

取締役会長	穴吹忠嗣
代表取締役社長	藏田徹
取締役	上口裕司
取締役	北村ひとみ
取締役	大谷佳久
常勤監査役	福田清之
監査役	柳瀬治夫
監査役	桑島美恵子

(注) 監査役柳瀬治夫及び桑島美恵子は社外監査役であります。

●主要な事業所（平成27年9月30日現在）

